

平成29年度 第2回大和市町界町名審議会

住居表示を実施する区域及び 町名町割りについて(諮問)

平成29年11月8日

1. 住居表示について

住居表示とは、土地の番号である地番を住所の表示に使用するのではなく、新たに街区符号と住居番号を定めて住所とする制度で、昭和37年に「住居表示に関する法律」が制定され実施されている。



1. 住居表示について

住居表示を実施する際には、

○住居表示に関する法律第3条に基づく
住居表示の実施区域等の議決

○地方自治法第260条に基づく
町区域の設定等の議決

が必要である。



【住居表示での住所の表し方】

現在の住所……………

大和市 下鶴間 1234番地5
大字名 地 番

住居表示では……

大和市 ××〇丁目 1番 1号
新町名 街区符号 住居番号

※マンション等の場合……

大和市 ××〇丁目 1番 1-201号
新町名 街区符号 住居番号

1. 住居表示について

大和市では、昭和40年から住居表示事業に着手し、これまで、街並みや区割りが基盤整備により整った地域を対象に実施し、市街化区域の約45%（約912ha）の地域を実施してきた。



【市内の住居表示等実施状況】

※実施済みの区域

住居表示実施区域

市街化区域合計 912ha

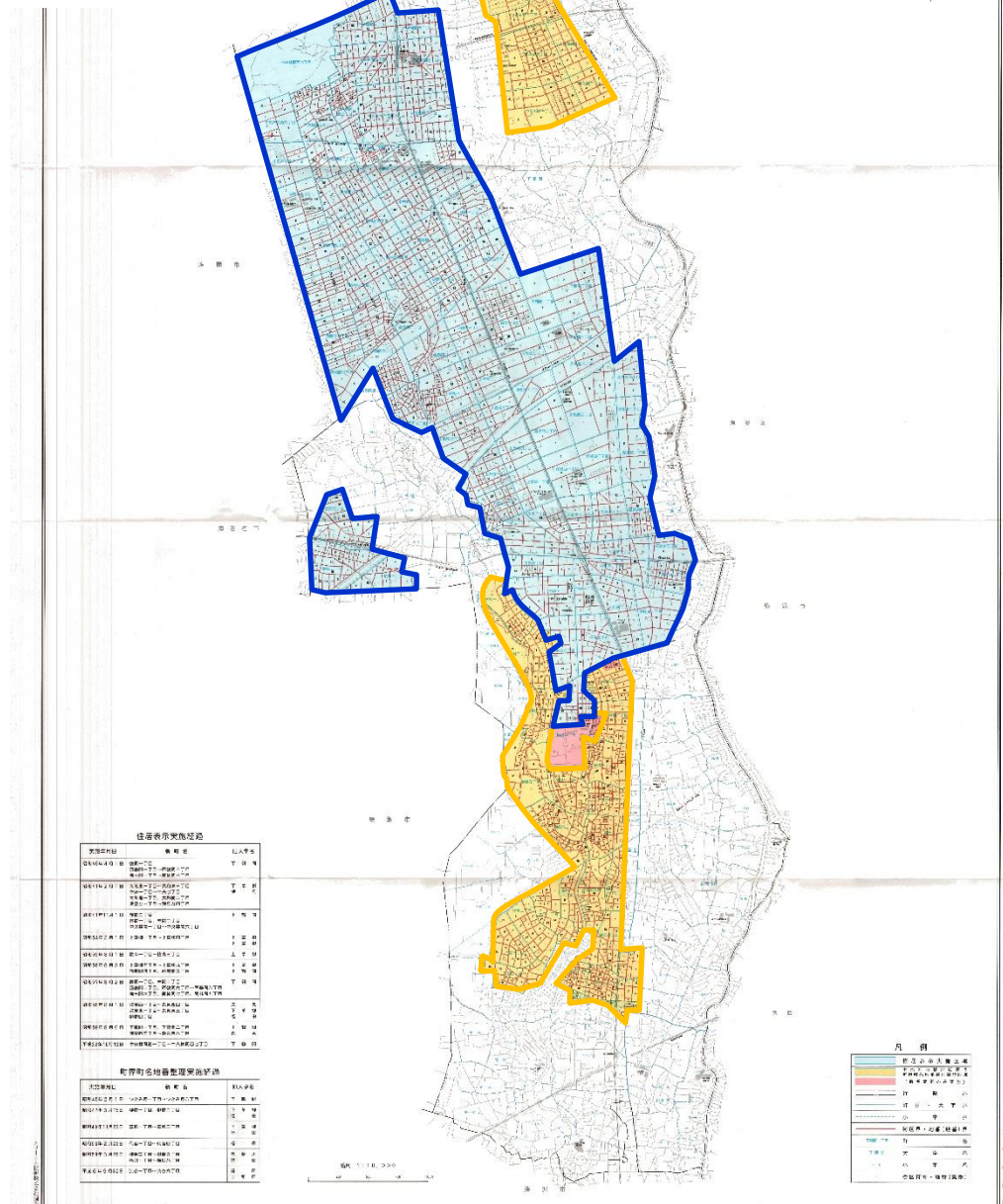
市内合計 1,019ha

町界町名地番整理実施区域

市街化区域合計 372ha

市内合計 372ha

市域面積(2,709ha)の51.3%
市街化区域面積(2,008ha)の63.9%が
分かりやすい住所に変更している

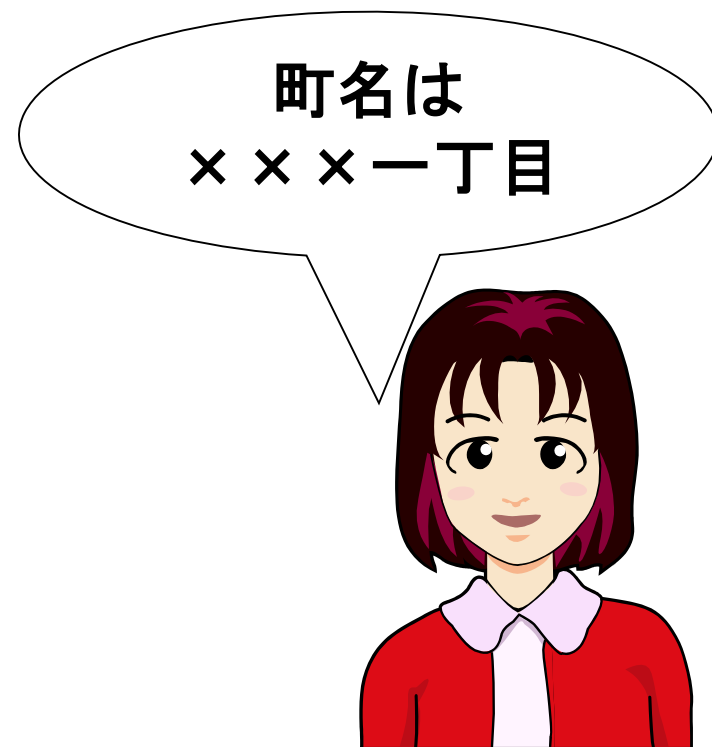
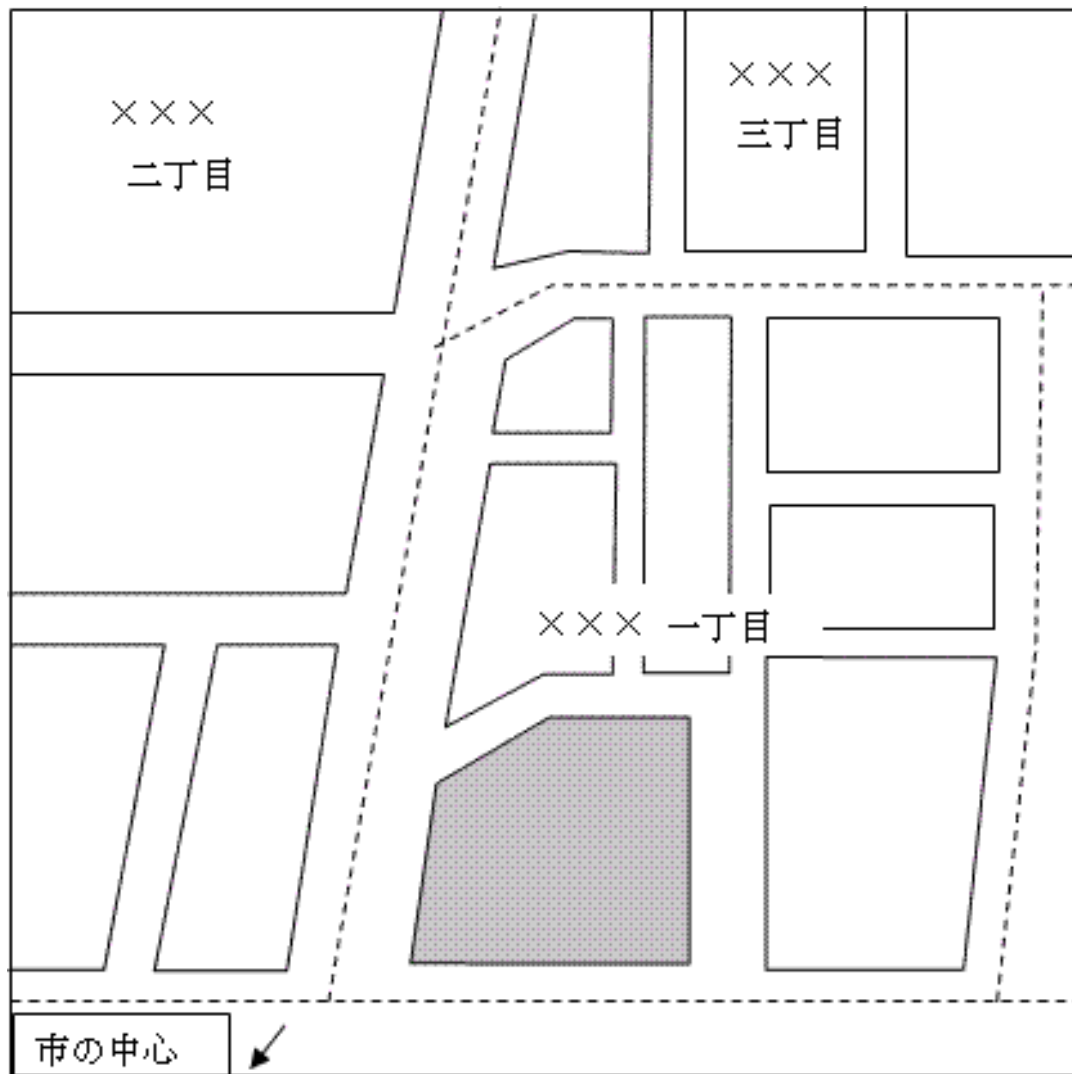


【市内の住居表示実施状況】

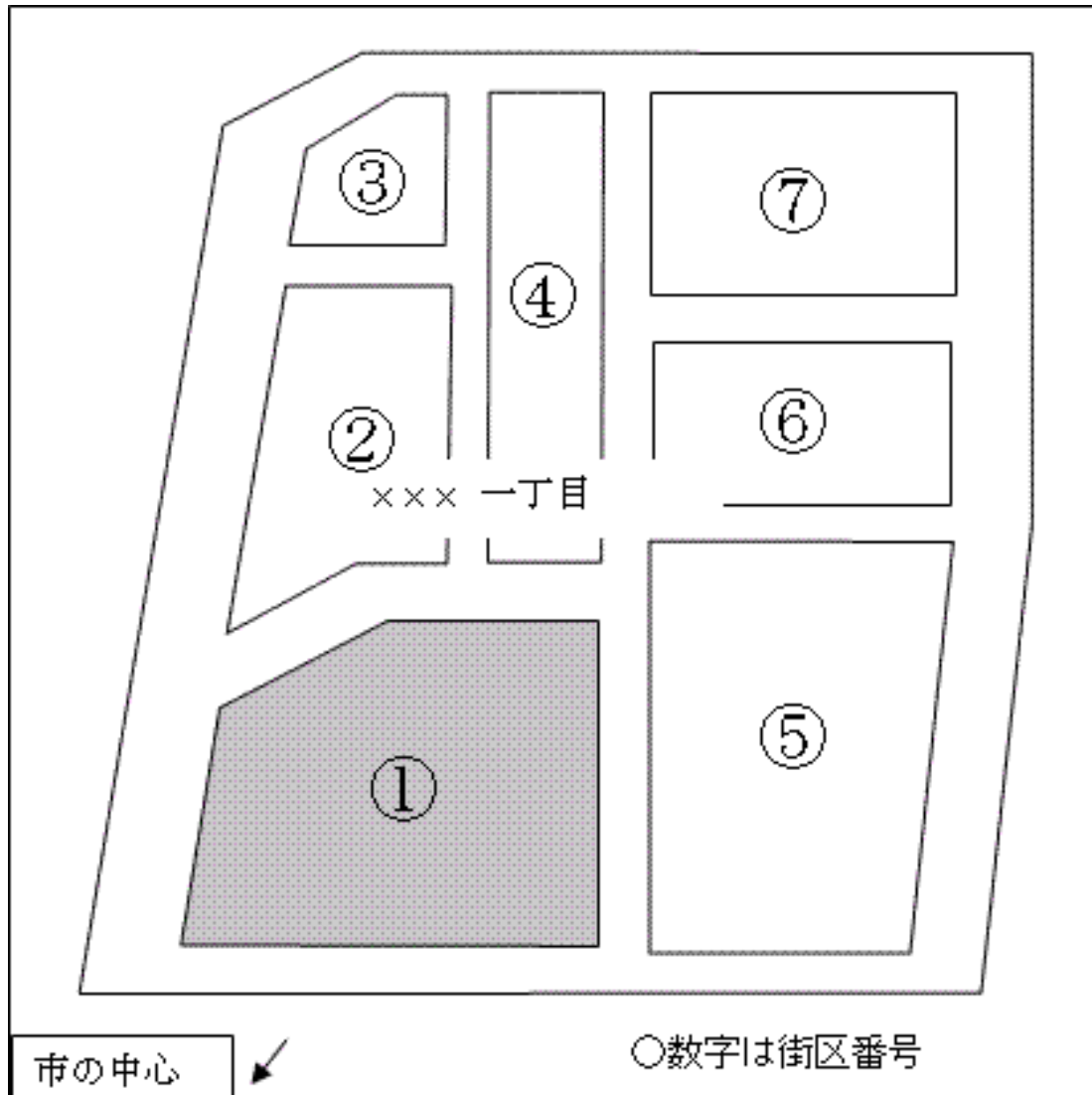
実施年月日	新町名	旧大字名
昭和40年4月1日	鶴間一丁目 西鶴間一丁目～三丁目 南林間一丁目～八丁目	下鶴間
昭和41年2月1日	大和東一丁目～三丁目 中央一丁目～七丁目 大和南一丁目～二丁目 深見台一丁目～四丁目	下草柳 深見
昭和41年11月1日	鶴間二丁目 林間一丁目～二丁目 中央林間一丁目～六丁目	下鶴間
昭和54年5月1日	上草柳一丁目～四丁目	上草柳 下草柳
昭和55年8月1日	桜森一丁目～三丁目	上草柳
昭和56年8月3日	上草柳五丁目～九丁目 西鶴間四丁目～五丁目	上草柳 下鶴間
昭和57年8月2日	林間一丁目～二丁目 西鶴間二丁目、六丁目～八丁目 南林間六丁目～七丁目、九丁目	下鶴間
昭和58年8月1日	深見西一丁目～深見西四丁目 深見東一丁目～深見東三丁目 柳橋四丁目	深見 下草柳 福田
昭和59年8月6日	下鶴間一丁目～二丁目 深見西五丁目～八丁目	下鶴間 深見
平成22年10月12日	中央林間西一丁目～七丁目	下鶴間

【住居表示の実施方法】

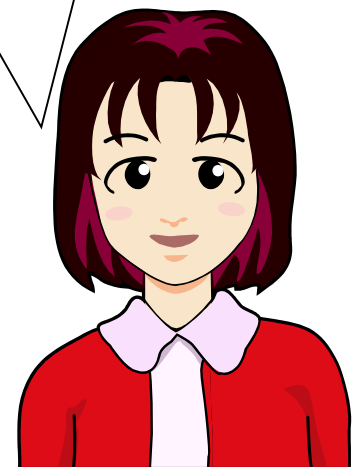
町をハッキリわかりやすく(〇丁目)します。



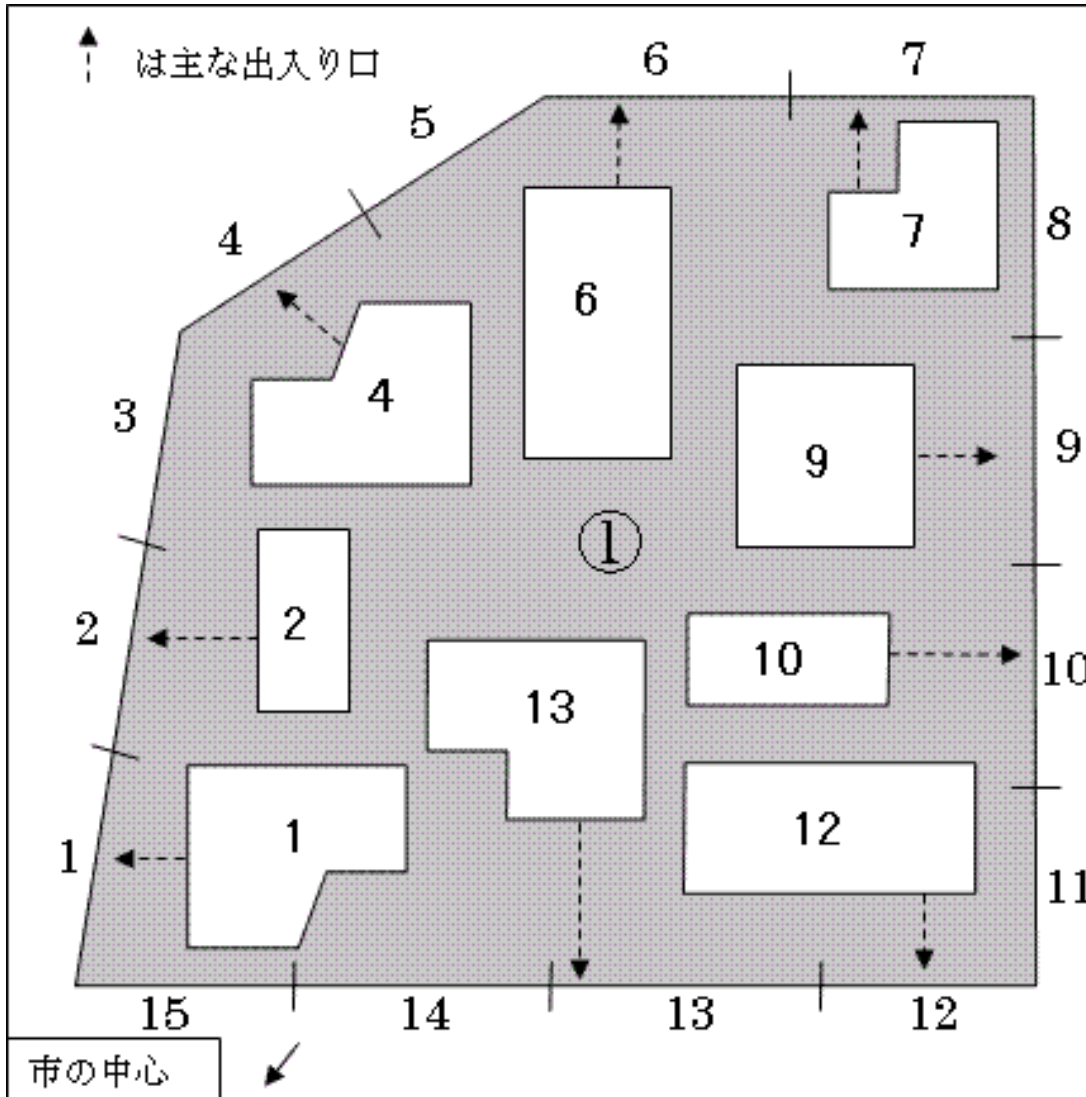
その町を分割して街区(○番)を決めます。



街区符号は
1番

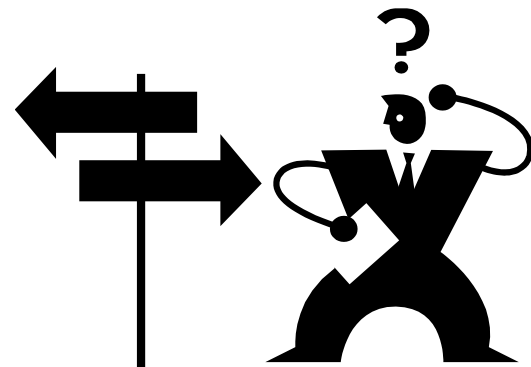


その街区のまわりに基礎番号を振り、出入口に合わせて建物の住居番号(○号)を決めます。

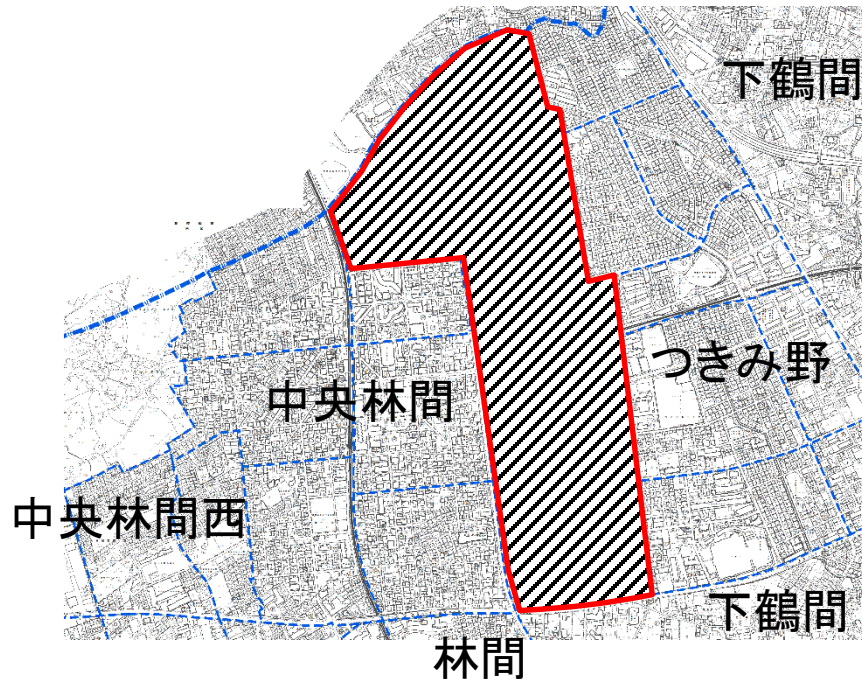


【住居表示実施の効果】

- 消防車や救急車が迅速に目的地に到着できる
- 集配業務が迅速に行われる
- 訪問者が目的の建物や人を探しやすくなる
- 行政その他の事務の効率を高めることができる



2. 住居表示実施区域の概要



対象地：下鶴間字甲八号、甲九号、甲十号、乙一号の一部、丁七号、丁八号、つきみ野五丁目の一部
(下鶴間1450～1788番地、4374～4474番地、つきみ野五丁目2番地29)

面積：約87ヘクター

世帯数：約1,850世帯

人口：約4,500人

事業所数：約90事業所

土地の筆数：約2,400筆

自治会：中央林間内山自治会（一部）

坂上自治会（一部）

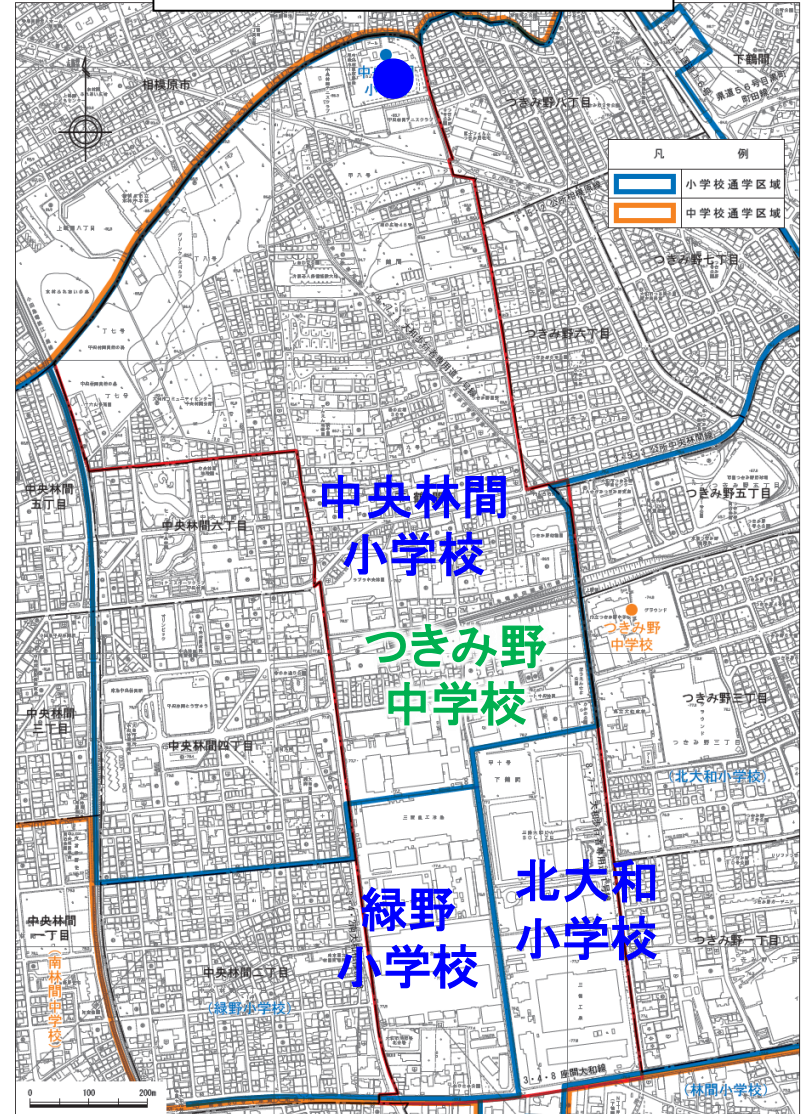
- 下鶴間を町名とする区域は、つきみ野を囲むように位置しており今回、中央林間とつきみ野に挟まれた区域の住居表示実施することにより、住所のおおまかな検索が行ないやすくなる。

2. 住居表示実施区域の概要




自治会区域図

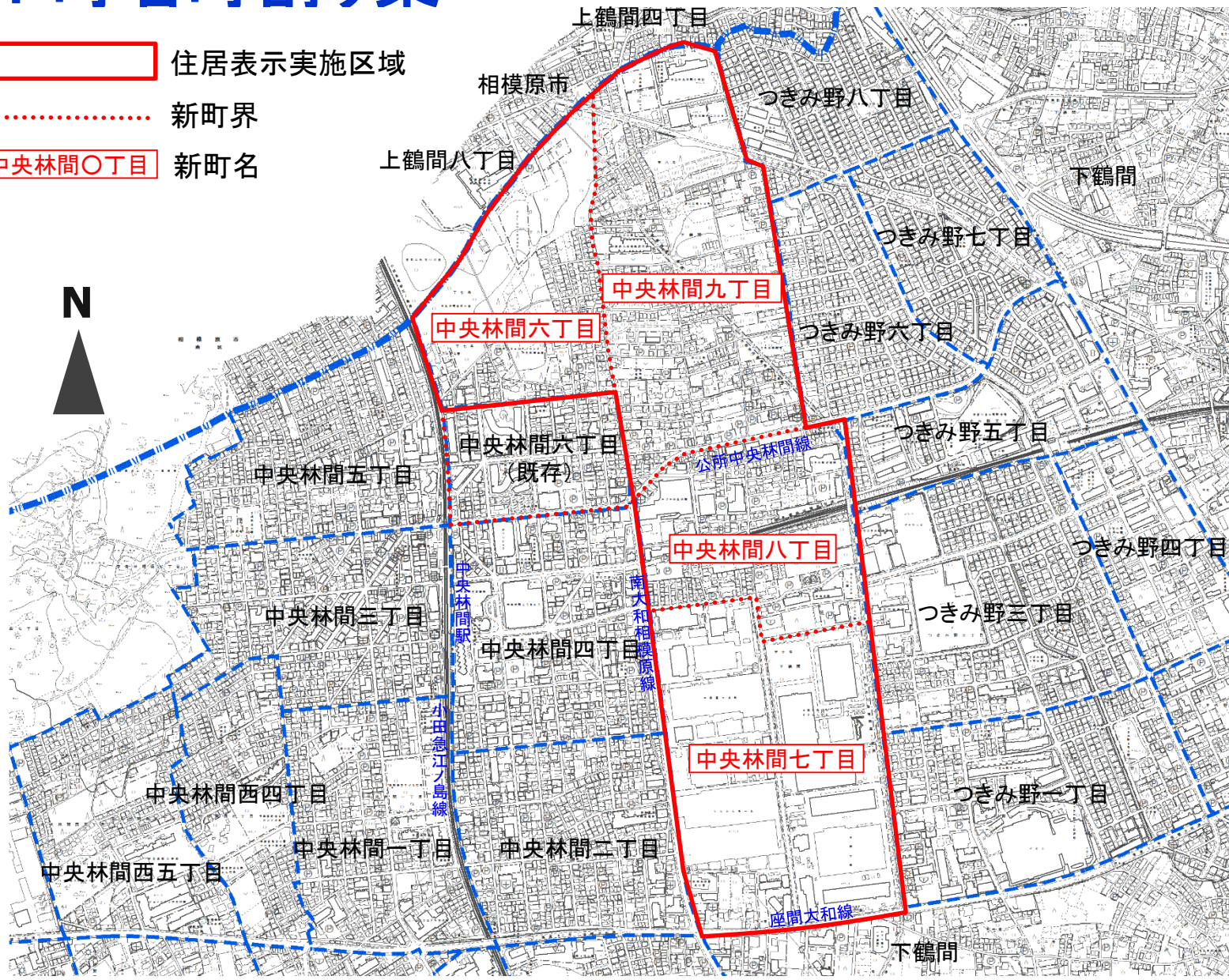


小・中学校学区図



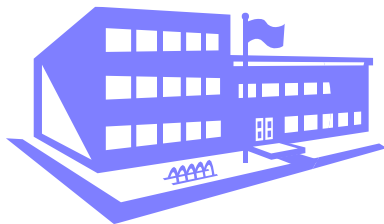
3. 町名町割り案

-  住居表示実施区域
-  新町界
-  新町名



(1) 町名の考え方


- 町名は、従来の地名、通称町名等に準拠して簡明なもの、由緒あるもの、親しみ深いもの、呼びやすいもの等を選択し、市内を通じて同一町名、類似町名又はまぎらわしい町名を避けて考えることを基本とする。
- ○丁目の順番は、市内の中心(大和駅・鶴間駅を基準)に近い方から順次丁目をつける。



(1) 町名の考え方

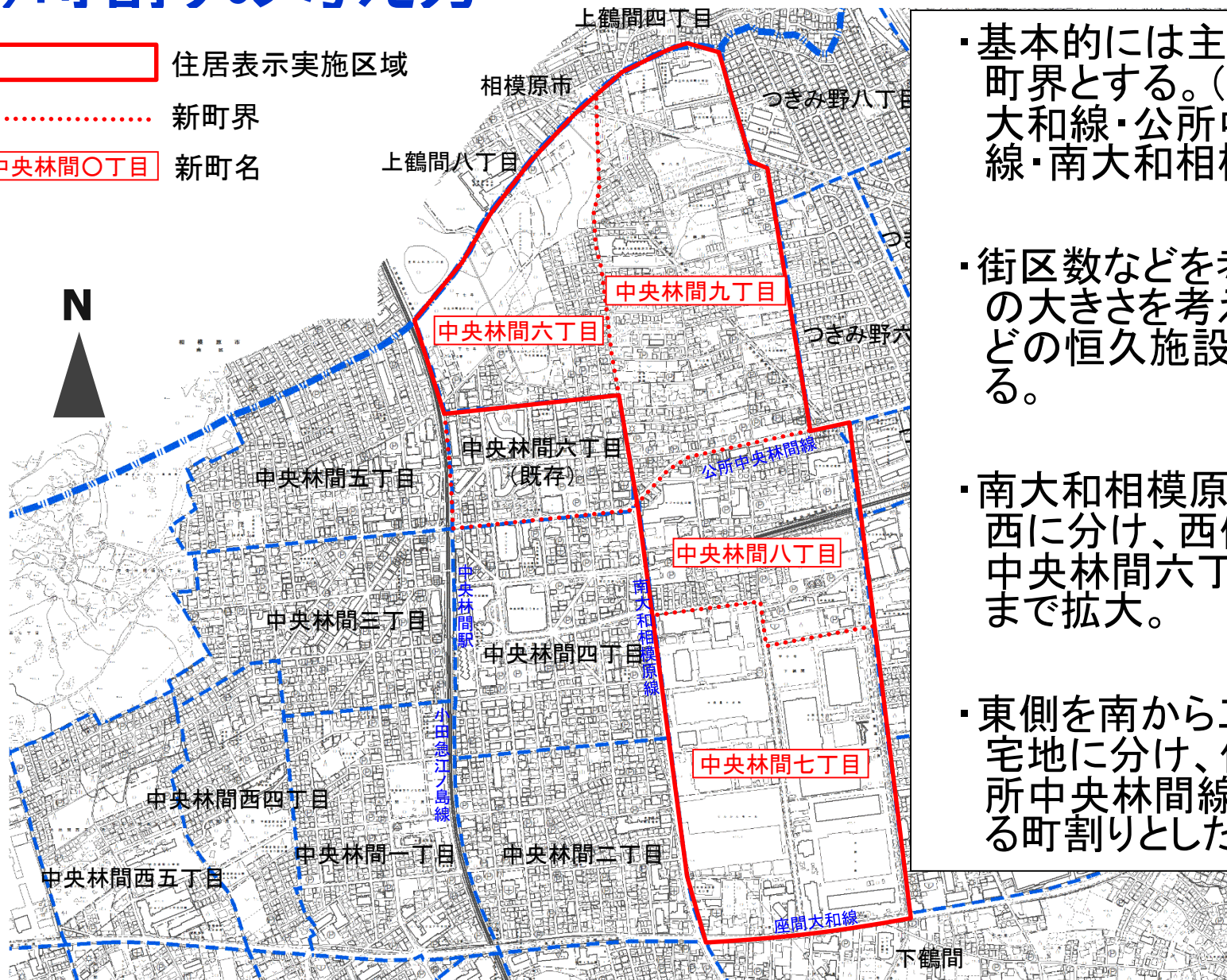
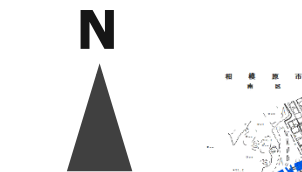
- 内山地区住居表示検討委員会が行ったアンケート調査で、町名は「中央林間」が付いたものを望む人が多数であった。
- 「中央林間東〇丁目」の町名とした場合、中央林間西の町名があり、また、東林間といった駅名もあり紛らわしい。
- 「中央林間十丁目」以降の町名とした場合、漢数字で書いた場合に分かりにくく、県内では十丁目以上の町名は無い。
- 田園都市線の終着駅として知名度の高い中央林間駅の近くに位置し、親しみ深く呼びやすいことから、「中央林間」とした。

(2) 町割りの考え方

 住居表示実施区域

 新町界

 新町名



- ・基本的には主要な道路を町界とする。(県道座間大和線・公所中央林間線・南大和相模原線)

- ・街区数などを考慮して町の大きさを考え、道路などの恒久施設を町界とする。

- ・南大和相模原線で町を東西に分け、西側の既存の中央林間六丁目を市境まで拡大。

- ・東側を南から工業地と住宅地に分け、住宅地を公所中央林間線で分割する町割りとした。

(3) 新町名の概要

新町名	町の面積	街区数※想定
中央林間六丁目 (既実施分)	約23.5ha (約8.4ha)	38街区 (12街区)
中央林間七丁目	約28.0ha	10街区
中央林間八丁目	約15.8ha	27街区
中央林間九丁目	約28.1ha	56街区

- 町の面積は、おおむね2万坪(約6.6ha)～7万坪(約23.1ha)を基準とする。
- ただし、区域内に学校、運動場、山林、工場等がある場合はこの限りではない。

4.これまでの経過(1)

＜平成27年度＞

○27年8月7日

内山地区住居表示検討委員会設立

○27年11月

下鶴間内山地区で住居表示実施についてアンケート調査

(対象1,814世帯) 回答率 52.8%(958世帯)

(回答結果)賛成 52.3%(501世帯)

反対 47.3%(453世帯)

4.これまでの経過(2)

<平成28年度>

○28年5月27日～28日(2日間)

検討委員会主催住居表示の実施について意見を聞く会
来場者45人 実施に賛成34人 実施に反対4人

○28年7月

住居表示の実施について意見を聞く会の実施報告
(チラシ全戸配布)

○28年11月

要望書提出のお知らせ(チラシ全戸配布)

○28年11月29日

住居表示実施に関する要望書が市に提出

○29年2月～5月

市と検討委員会で町名町割りについて協議

4.これまでの経過(3)

<平成29年度>

○29年6月20日

市素案を公表(全戸配布 対象2,071世帯・箇所)

○29年6月30日～7月2日(3日間)

市素案説明会(ポスターセッション形式)

来場者72名

市素案に賛成 54票 84.3%

市素案に反対 4票 6.3%

分からない・未記入 6票 9.4%

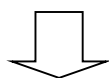
合計 64票

○29年8月28日 第1回大和市町界町名審議会
(委員委嘱、報告)

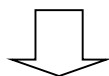
5. 今後の予定

<平成29年度>

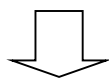
○29年11月8日 第2回大和市町界町名審議会(諮問)



○29年12月1日 町名町割り案の公示(~1月4日)
(住居表示に関する法律第5条の2)

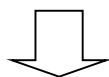


○30年 3月 市議会上程・議決・告示
(地方自治法第260条、住居表示に関する法律第3条)

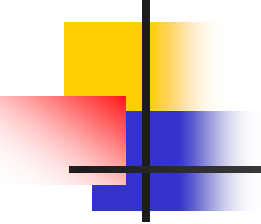


<平成30年度>

○30年 8月頃 関係人等へ通知



○30年10月9日 住居表示実施



平成29年度
第2回大和市町界町名審議会

住居表示を実施する区域及び
町名町割りについて(諮問)

平成29年11月8日